

令和4年2月26日

文責

大阪芸術大学

田中裕美子

質問への回答

・指導について

①事例として、支援員さんを稼働して、日に15分ずつの直接支援がされていました。児童を支援する支援員さんへの指導法や手順の伝達や、必要物の準備等は、どの立場の方がどのように行っていたのかももう少し知りたいです。

②トップダウンのことをもう少し知りたいです。実際の田中先生の指導も、見られたら嬉しいです。

③トップダウンの学習構造について、もう少し聞いてみたいです。特に、概念化とセルフモニターの方法について教えてください。

④ナラティブについてもっと詳しく教えていただきたいです。

⑤ナラティブを用いた言語のダイナミックアセスメントについて、もう少し詳しく知りたくまりました。

⑥DAについて、もう少し詳しく教えていただきたいです。具体的にどうやるのでしょうか。

(1)①～⑥の指導法についてですが、これまで日本コミュニケーション障害学会言語発達障害研究分科会のセミナーやワークショップで発信してきました。また、今年1月、NPO法人「どこでもことばドア」を立ち上げ、オンラインや対面で、発信を始めていますので、それらの活動をご参照ください。指導の頻度から考えてもことばの教室の先生方に実践して頂くのが、子どもの言語に最も効果を生みやすいのですが、効果を生む実践ができるようになって頂くには、指導法の基本、実施する対象児の選択と指導案の企画、指導効果の検証とそれ以降の指導についてなど、少なくとも5～6か月にわたったプロジェクトに取り組んで頂くことが必要かと考えています。

⑦該当していると思われる高学年の児童に対しても、幼児期のような指導は効果があるのでしょうか。幼児期から小学校低学年のうちに適切な支援をしていくことが最も大切なことではありますが、色々な理由でそれができなかった児童がいるので。

(2)⑦の質問について：何が該当しているのでしょうか？どこでそのように判断されたのでしょうか？子どもの言語のアセスメントの適切さが指導法の選択に影響します。

ただ、知的障害でない限り、レベルを下げる、初期から積み上げる、繰り返すなどといった方法に効果をあまり望めません。

⑧中学通級に在籍する生徒は英語学習に嫌悪感、困難さをもっています。言語習得、読み書きに課題が見られる子どもに対する中学校の英語学習、またこれから本格化する小学校の英語学習のあり方、指導法を教えてください。それに関する良い書籍、実践等が

あれば教えていただけるとありがたいです。

(3)⑧程度の違いはありますが、英語学習に嫌悪感を持っている日本の学生(日本人)は少なくありませんね。言語習得に躓きがある子どもに、もう一つ言語を習得させることはさらに困難であることは明かです。さらに、私は 30 年米国に住んでいますが、英語が得意ではありません。つまり、どの程度を英語の習得と考えるかです。日本人の英語が Japalish とも言われているのをご存知ですが、音韻が異なり、カタカナやローマ字を使っているため、読み書きの習得が想像以上に難しいです。従って、コミュニケーションができれば良しとするなど、先生方で目標を決めて行くのも一つかと思えます。参考図書は全く分かりません。

⑨カリキュラムは、主に児童の行動面に効果があることはわかりましたが、読み書きの力(読解力や文の構成力)に効果は見られたのかが気になりました。また、長期的な視点でみると、カリキュラムをおこなった児童は、言語理解や言語表出は高まっているのかも知りたいです。

(4)⑨どの子どものことか分からないのですが、まず子どもの音声言語の理解を図ります。読み書きは decoding と読解に分け、後者を中心に教科書を使って指導しますので、少なくとも指導した国語、社会、理解の教科書についての読解の力はつきます。その後については、数年にわたる継続的な指導が必要ですが、ことばの教室の先生や特別支援教育の先生に任せることもあり、残念ながら担当者が変わると連絡も途絶えてしまい、効果がつかめていないこともあります。最後に、言語発達障害がある場合、治りませんし言語は弱いままです。高まっていくということではなく、持っている力を最大限使えるようにしていくことを狙います。

幼児の指導

①幼児(3~5歳児)対象の1回45分(個別15~20分/グループ20~25分)の中で学習言語を伸ばすようなプログラムにはどのようなものがあるのでしょうか。

(1)①ナラティブを用いた幼児版の指導がありますが、これは上記(1)を参照して下さい。

②年長から小2くらいが教えたら伸びる時だと話があった。実際、小2の子供の指導を見せてもらったが、年長の子供にも同じようなやり方が有効なのか、又は他に方法あるのなら聞きたかった。

③知的には問題がなく、言語のみに問題のある子に対して幼児期にできる指導がありましたら教えてください。

(2)②、③言語発達障害がある場合、遊んでいては言語は伸びませんので4歳台から指導をします。上記(1)を参照ください。

④学齢期は学校の授業に合わせた指導にするとよいというお話でしたが、年長児に対するアプローチ法がどこを基準にすればよいのかを知りたいです。

(3)④年長児は、人に分かるように説明するナラティブ能力、メタ言語力、音韻意識などたくさん指導できる言語課題があります。

⑤年中、年長児で SLI 傾向の子どもがいるが、幼児の時点での支援はどのようにしたら良いのか具体的な策があったら教えていただきたいです。

(4)⑤SLI 傾向とはどういう意味ですか？しゃべっているのに言語に問題があることが分かりますか？まず、通常級で発見し、担任に理解を求め、週1の言語支援(語彙、ナラティブなど)に取り組みましょう。

⑥発達通級の生徒も今までの成長をたどると幼児期に言葉の教室に通っていたケースが多いです。言葉と情緒面の発達についての具体的な見極めや支援について教えてほしいです。

(5)⑥すみません！ 質問されている「言語と情緒面の発達の見極め」の意味が分かりません。なぜ一緒になっているのでしょうか？

・検査について

①言葉の理解は PVT で見ており、言葉の表出を調べる検査は言語発達診断検査を使っていました。しかし、今、言語発達診断検査は廃盤になり、言語の表出を見るとき、何がよいか迷っています。このまま言語発達診断検査を使ってもよいかほかのものにしたらいかがい教えていただけたらありがたいです。

(1)①LC スケールはどうですか？

・担任との連携について

①言語発達障害の改善プログラムに担任の先生に取り組んでもらったことが紹介されていきました。その詳細を知りたいと思いました。

(1)①特別支援教育は担任との連携が必須ですよね。残念ですが、中には理解が深まらない、対応できない担任もいます。その場合、担任をお願いすることを項目にし、クラスでの支援には他の人材の追加をお願いしています。具体的な内容についてはセミナーやワークショップ、もしくは個別のコンサルテーションでお話しています。

その他

①発達通級の「話す・聞く」と言語通級の「話す・聞く」の問題のちがいをよく聞かれますが、端的にどんな相手にもわかる説明の仕方が知りたいです。

(1)①先生の感覚ではどのように違いますか？その違いを説明されては？

②学齢児童において、言語についての何らかの苦手さ（構音障害以外）がある場合は、「言語発達遅滞」ではなく、すべてが SLI などの「言語発達障害」であるととらえていいでしょうか。

(2)②どう思いますか？発達遅滞の意味するものは何でしょうか？

③親御さんへのアプローチや経験談についてもお聞きしたいです。

(3)③個人情報が含まれるため、なかなか難しいですが、心理の先生と一緒に検討されるのもお勧めです。

<感想や意見>

お役に立てることがあって良かったです。また、興味を持ってくださる先生方がたくさんいらっしゃったのはうれしい限りです。ただ、1 回の講演を聞いて実践はなかなか難しいですね。一番最初に提案しましたように、プロジェクトとして取り組んでいかれるときにお手伝いできますと幸甚です。先生方の今後のご活躍およびご発展をお祈りしております。